

特集

大切な命を守るために 今私たちができること

市内に大きな爪痕を残した平成30年7月豪雨から間もなく5年。

今年も梅雨、台風シーズンを迎えます。豪雨災害では、普段穏やかな川が氾濫したり、裏山が崩れたりするなど、思いもよらない「まさか」ということで大切な命が失われます。

「命を守る」ことに正解はありません。自らの命は自らで守るため、一人一人が日頃の備えや災害時の行動を考えておきましょう。

問い合わせ先 危機管理課

(☎43-7211)



平成30年7月豪雨時の府中市の様子

防災士を活用して、地域の防災力向上を

防災士は、防災に関する知識と技能を修得した人に、日本防災士機構が認定する資格で、地域の防災力を高めるための活動を行います。私は、町内会長になったことをきっかけに、防災士の資格を取得しました。現在は、防災士としての実績を認めていただき、県の自主防災アドバイザーとしても活動しています。

いざという時の被害をできるだけ小さくするためには、日頃からの防災活動が欠かせません。防災士は、災害時だけでなく、平常時は地域の人たちの防災意識を高めるためにさまざまな活動をしています。

私は、栗生地区を中心に、地域の自主防災組織の運営に携わり、訓練や研修に参加するほか、高齢の方が集まるサロンや小学校から依頼を受けて講演や教室も開催しています。地域の皆さんに正しい知識を伝え、命を守ることに繋がっていききたいとの思いで啓発に取り組んでいます。

防災士の活動の場はまだまだ少ないのが現状です。地域や職場で防災講演会を開きたい、避難所の運営について聞いてみたいなど、気軽に私たち防災士をご活用いただき、地域の防災力向上に役立てていただきたいと思います。



広島県自主防災アドバイザー
栗生町内会長 河村 誠さん

相談・問い合わせは、市役所危機管理課まで